

# やまゆり

学校だより

令和5年9月26日  
45号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー  
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標重点 「高校との連携」

## 都留興譲館高校の「工業」4学科についてキャリア講話会を行いました

昨日6校時に、都留興譲館高校の工業科4学科について「キャリア講話会」を本校体育館で行いました。工業科4学科と主な学びについて以下に簡単に示します。

- 1 「機械工学科」:機械・自動機械やコンピュータの基礎的知識と技術、実践的技術の習得
- 2 「電子工学科」:電気・電子に関する基礎を土台に、コンピュータのソフト・ハードウェアの技術
- 3 「制御工学科」:機械と電子を双方学ぶ「メカトロニクス」技術を駆使できる技術
- 4 「環境工学科」:環境工学に関する幅広い学習で、環境保全やインフラ整備等の技術

キャリア教育は、「生徒一人一人の良さを能力、興味を生かし、社会的に自立した人間」を育成するために行う教育です。

「学力のみによる進路選択は、避けなければならない」と考えている本校では、現代日本を支える物作り、「工業」の魅力やその重要性を生徒が理解し、進路の選択に生かすためにキャリア講話会を行いました。都留興譲館高校でも、「工業4学科のみに、焦点を当てた説明は開校以来初めて実施した」と伺いました。

説明には、主幹教諭で工業科の「水越先生」、電子制御科の「佐藤先生」、本校卒業生の「星野大冴さん」が参加し、説明して下さいました。

**高校・職業選択で重要な、「本人の興味や適性」を第一に考えてほしい**

佐藤先生は、甲府工業高校出身で、その後大学を卒業して高校の先生になられたそうです。中学校時代は、学年150名の下位の成績で、進路相談で「甲府工業で電子について学びたい」ことを先生に打ち明けると、「かなり難しい」と言われたらしいです。しかし、「どうしても甲府工業で電子の勉強をしたいという強い願い」で必死に勉強し、見事合格したそうです。

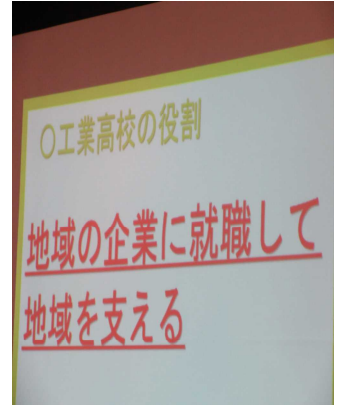
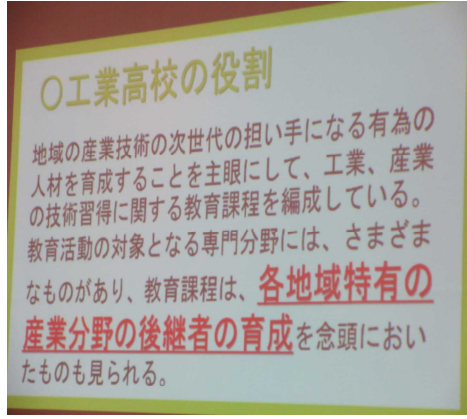
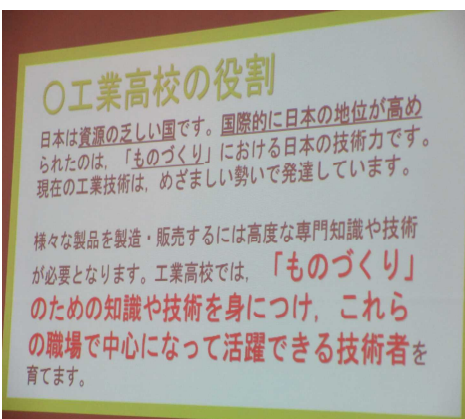
工業科についてキャリア講話を受ける生徒



左から水越先生・星野さん・佐藤先生

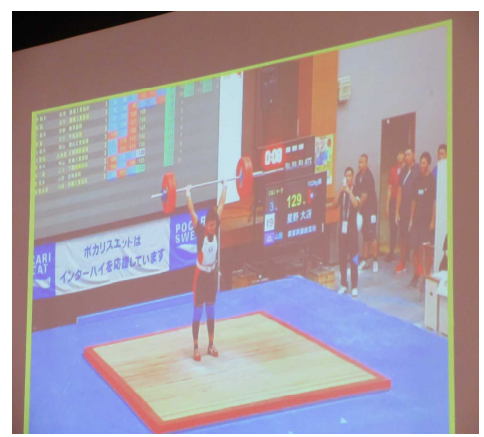


工業高校の使命とその誇り 地域の企業に就職し、地域の産業を支える技術者・経営者の育成

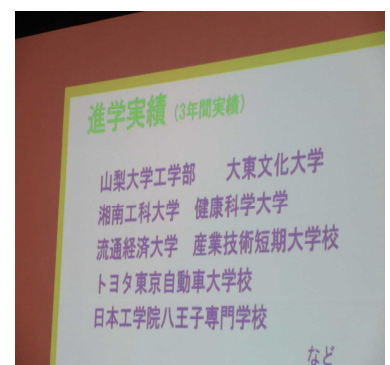
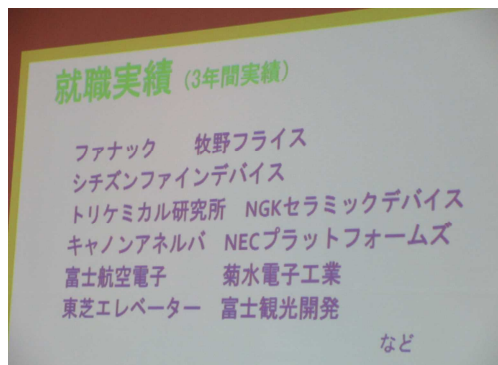
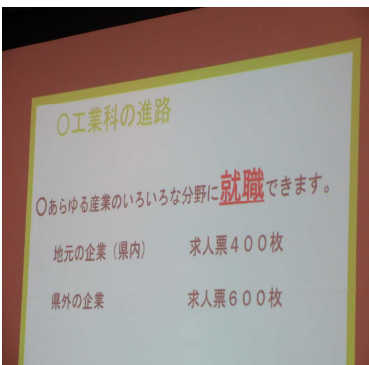


本校出身の星野さん

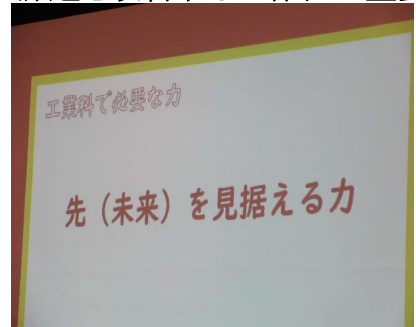
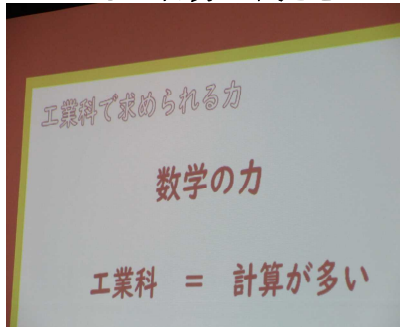
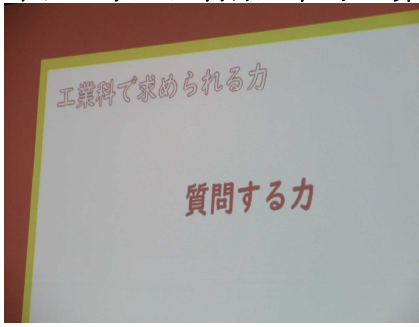
勉強にも部活動にも情熱をもち一生懸命な3年間を送ることができた  
全国高校総体にも山梨県代表として出場し優秀な成績を残した



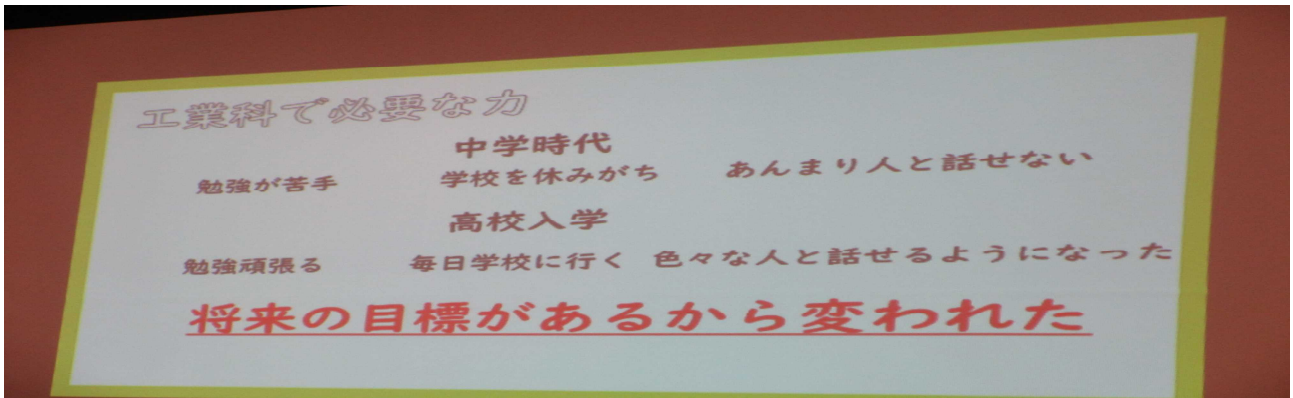
60名の就職希望に1000の求人票 県内優良企業への就職実績 大学専門学校への進学実績



今日の学びは将来の仕事に繋がっている 自分の良さを生かし課題を改善する主体性が重要



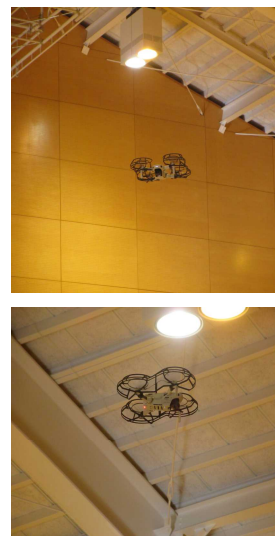
学力の高さが人生の充実には繋がらない 自分で選択し、自分で自己決定して自己実現する



佐藤先生から生徒の成果物の紹介



ドローンの飛行実演



千莉さんのお礼の言葉

- ① 高校生活の見通し
- ② 星野先輩の活躍
- ③ 地域の物作りを支える技術者になりたい



### 生徒の主な学びや感想

☆正しい情報の更新によって、動機付けは更新されます。自ら求める力も高めましょう！

- 高校への進学希望はありましたが、何を学ぶのかについて深く考えたことはありませんでした。しかし、「工業科」も視野に入れて考えたいと思いました。また、高校に進学してからも学習の大切さ、特に「コミュニケーション力」や「質問力」を高め、「分からないことをそのままにしない」ようにしたいと思いました。
- 自分のあまり知らなかった「工業科」について詳しく知ることが出来た。「工業」を学ぶ事についても目標にしていきたいと思った。また、一番心に残ったのは「人間性」であり、「コミュニケーション力」・「計画力」・「質問力」等の大切さを知る事ができた。毎日の生活で意識して高めていきたい。

- 私は工業の学科について詳しく調べたことがなかった。今日の説明で工業4学科について詳しく知ることが出来た。進学は、高校だけでなく何を学ぶのか、学科をどう選択するのかを時間をかけて考えていきたいと思った。
- 工業化では、コミュニケーション力や質問力が重要であることが分かった。また、工業科では主に教科では数学、その他にも「先を見据える力」が重要であることも分かった。都留興譲館高校が「総合制高校」であることも初めて知った。
- 今日の講話では、今道志中学校で取り組んでいる「質問力」が高校でも必要であることを知り、驚きました。また、質問力は高校や社会でも通用する力だと自覚することができました。進学先に工業科は考えていませんでしたが、今回話を聞いて「学び自体が楽しそうだ」と思い自分の選択肢に加えたいと思いました。
- 工業科にはあまり興味が無かった。しかし、今回のキャリア講話会を聞いて、とても印象が変わった。まず、「楽しそうだ」と思った。今の自分だけを考えるのではなく、未来の自分・今後どうしたいのかを考えることの大切さを学びました。
- キャリア講話を伺い、印象に残ったのは4学科全てが生徒や地域の「未来」のためになり、興味や関心が合う人には、とても楽しく学ぶことができることです。特に電子工学科のゲームづくりタイマーの製作に興味を持ちました。また、最後に見せていただいた、ドローンや自動車の部品等にも興味を持ちました。今まで全く考えていなかった「工業」の学びにも目を向けていきたいと思いました。(女子生徒)
- 私は、今日の話をお伺い気づいたことがあります。それは「言葉だけでは分からないことがある」ということです。私ははじめ、話の内容が理解できませんでした。しかし、ドローンが飛んでいるを見て、「こういうことか」と実感できました。このことから、見る・体験することの重要性が分かりました。また、私は今日話を聞いて、もう一度自分の進路について考え直そうとも思いました。自分の興味に合う「楽しい」を軸に、高校選択を考え、高校生活を目標をもった本当に楽しい時間にしたいと思いました。
- 今回のキャリア講話では、興味深い話を聞くことが出来てとても嬉しく思っています。もともと、都留興譲館高校には興味を持っていたのですが、さらに興味や関心が強くなりました。今回の体験は私にとってとても良い体験でした。先輩の生活や部活動の様子も伺い、具体的に高校生活のイメージが持てました。
- 今回のキャリア講話を聞いて、情報によって新しい興味を持つことが出来ました。特に興味があったのは、課題研究ができることです。普通高校では体験できない学び、追求があると思いました。
- 工業科の活動を実際に見ることができ、入学後のイメージを持つことが出来ました。工業科に進学した先輩方の就職や進学先を知る事が出来たことで私以外にも興味を持った人が多くいると思いました。
- 今回の説明で、4学科の大まかな学習内容を知ることができ、進路選択に生かせると思いました。また、高校入学後に重要な数学の力・コミュニケーション力・質問力等を知ることができ、毎日の生活で努力すべきことが明確になりました。
- 高校入学後に重要な事についての話が心に残った。その中でも社会に出ると最低限必要なコミュニケーション力・質問力・先を見据える力の重要性について知ることができて良かった。
- 工業高校についてはあまり知識が無かった。しかし、日本や地域を支える重要な仕事であり、その発展はすごいと思いました。特に、最後の3Dプリンターの成果物やドローンの能力の高さに驚きました。
- 工業科だけでなく、都留興譲館高校の学科や校舎・設備・部活動等についても詳しく知ることができた。とても良い機会だったと思いました。熱心に話して下さり、「好き・情熱をもつ」等の大切さが伝わりました。

